

原水爆禁止2010年世界大会代表派遣 News

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03-5842-6031 FAX:03-5842-6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2010年7月26日 No.14 国際会議まであと7日

2010年世界大会まであと7日!代表派遣目標達成へ最後まで奮闘を

全日本民医連 全国集計で1000人超える!

歴史的な2010年世界大会が目前にせまりました。ドゥアルテ国連上級代表とともにエジプト、マレーシア、メキシコ、キューバ、ノルウェーなど核兵器廃絶をリードする政府の代表、5月のNPT行動の中心となったアメリカとヨーロッパの反核平和団体のリーダーなど27カ国から75名の海外代表の参加が決まっています。秋葉忠利広島市長(4日開会総会)、田上富久長崎市長(8日国際フォーラム)の出席も正式に決まりました。世界大会への期待は大きく高まっています。

全国の広島への代表派遣目標は合計7270名で、そのうち名前でおさえられている代表数は、7月26日現在で目標の5割(3909名)を超えたところです。選挙後2週間で2000名を超える代表が決まりました。NPT・ニューヨーク行動参加者や青年学生に参加を働きかけましょう。すべての団体、地域からの代表派遣を追求しましょう。世界大会の成功へ、最後まで自主目標達成を堅持して、とりくみをひろげるよう心からよびかけます。

7月24日現在、すでに参加予定数が1000名を超えた全日本民医連は、21県連(秋田、宮城、群馬、埼玉、山梨、長野、新潟、富山、静岡、奈良、滋賀、京都、兵庫、岡山、島根、山口、高知、熊本、長崎、宮崎)で2008年実績を上回っています。

三重からは高校生が3人参加し、そのうちの一人、前野百香さん(16)は5月にニューヨーク行動にも参加し、分科会2「世界の運動との交流」に高校生3人で出たいと話しています。

和歌山の新宮市から8人で参加するうちの一人、仲江玄さん(29)は、NPT・ニューヨーク行動にも参加しました。新宮市は合併前に非核自治体宣言をしており、世界大会に参加するために仕事を休むことがいまま保障されています。このことが親子の参加や、「広島で被爆者の話を聞きたい」と非正規職員が初めて参加を決めるなど、これまでにないとりくみにつながっています。

【連載】原水爆禁止2010年世界大会プログラム紹介

世界大会 広島・閉会総会/ヒロシマテ'-集会

8月6日(金)10:30~13:00 広島県立総合体育館・グリーンアリーナ

10:30~ 再開宣言 議長団

各国政府メッセージ紹介

全国代表をブロック毎に紹介

10:37~ 核兵器のない世界のために 国連と政府代表から

セルジオ・ドゥアルテ国連軍縮問題担当上級代表
政府代表

・ワリード・アブデルナーセル駐日エジプト大使

・アルネ・ロイ・ウォルター駐日ノルウェー大使

・セイコウ・イシカワ駐日ベネズエラ大使

11:25~ 被爆65周年 被爆者とともに

広島で被爆され、カナダ・トロントで活動するセツコ・サーローさんのスピーチ

被爆者とともに歩んだ65年:山田寿美子さん(ケアマネージャー)

被爆者に捧げる歌:ギター弾き語りで「SADAKO」を歌うボストンのアンドリュー・マックガラーさん
きたがわてつとうたごえ合唱団

12:00~ 核兵器のない世界への次のステップ

(1)世界の草の根から 海外代表

12:20~ (2)被爆国日本の草の根から

各地、各団体から

・楽しく元気に折り鶴宣伝・署名をとりくむPPO(岡山の青年)

・国際会議に参加した青年

・被爆体験の継承をとりくむ広島の青年

12:45~ 文書採択

12:50~ 行動提起

12:57~ 閉会あいさつ



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/Gpress/>
携帯電話からもアクセスできます。